



年末手当で

基準内賃金2.0ヶ月分の低額回答

別途追加要求を申し入れる！

怒

11月11日、年末手当の回答が示された。基準内賃金2.0ヶ月という回答であり我々が要求した数字とはかけ離れたものであった。この回答を受けて、様々な意見が出された。

《出された意見》

「経営陣の給与、2ヶ月返納して年末手当を全社員5%つけるべき。これだけ下げているのだから、役員報酬を明らかにすべきだ。」

「社員の頑張りと努力に答えようという姿勢が見られない。前決算より収入は上がっており支払い能力はあるはずだ。」

「少ないのう…」

「交渉前からマスコミ相手にボーナスカットするとか言っちゃう時点でブラック。」

「定昇削って、年末手当も昨年の決算より良くなっているのに削る。モチベーション下がる以前に不安でしかない。新しい施策をやれって方が無理がある。苦勞に報いるべきである。」

「業績が良いときは先行き不透明で上げないくせに、赤字を理由に当たり前のように下げるのはおかしい。」

「2ヶ月じゃ、給料に毛が生えたくらい。給料安いのに乗務はドンドンきつくなる。」

「やりがい？働きがい？柔軟な働き方？変革？我々がほしいもんは金や！」

「施策を担ってきたのに、3年で100万年収が下がる会社ってなんなのか。」

私たちは席上妥結せず、回答を持ち帰り全地本代表者会議を行った。以下の追加要求を申し入れ妥結した。

《申19号》 11月12日

心の豊かさと明日への活力が実感でき、安全な輸送サービスを実現する申し入れ

- ① コロナ特別一時金の支給について
- ② 住宅ローン・賃貸住宅等特別支援一時金の支給について
- ③ 奨学・育児特別支援一時金の支給について

提出！

赤字を労働者に押し付けることは許されない！